

システム情報工学研究科修士論文概要

年 度	平成 27 年度	学位名		修士(工学)
専 攻	知能機能システム	専攻	著者氏名	砂田 美佑
指導教員氏名 星野 准一				
論文題目 シナリオ型ゲーム教材を用いた親子の食育支援				
論文概要 <p>食は私たちの生活に不可欠なものである。2005 年には食育基本法が施行され、また 2006 年には、食育基本法に基づき、食育に関する基本的な方針や目標について定める食育推進基本法も策定されており、食育活動が国民運動として推進されている。</p> <p>子どもは身体の成長段階であることや、食習慣を形成する時期であることから、食について正しい知識を持ち、その知識を日常生活の中で意識できるようになることは大切である。また、家庭における食生活の管理や子どもに対して食教育を行うという役割を担っている保護者が、子どもだけでなく保護者も同様に食について意識を持つことは大切である。</p> <p>ところが、家庭における食育支援は未だ十分でない。</p> <p>本稿では、親子で食の基本的な知識を学ぶことのできるシナリオ型ゲーム教材を提案する。シナリオ教材開発における理論であるゴールベースシナリオ理論に基づいた教材開発を行い、学習者が現実的なストーリーの中で学べるものにする。また、複数の学習者が一緒に同じ問題に取り組む協調学習は、互いに質問や議論を行うことで、自分自身の理解を深めることができる学習形態とされていることから、提案教材では親子で一緒に話し合い、考える場面を取り入れることで、学習効果を得られるようにする。</p> <p>評価実験によって親子に提案教材を実際に使用してもらい、教材の使用感、教材使用による学習効果を検証したところ、提案教材は使用が容易であり、親子で食の基本事項を学習する手段として、有効であることが示唆された。また、シナリオ型や協調学習を取り入れた教材の形態は、学習者が食の知識を学ぶ方法として有意義であることが示唆された。実験後には、食に関する話題が増えたり、食事や調理時に学んだ食について意識しているとみられる親子がおり、一回の使用でも、日常生活において一定の波及効果が見られた。</p>				
審査日 平成 28 年 1 月 28 日				
審査員	(大学名 職名)	(学位)	(氏名)	
主査	筑波大学 准教授	博士(情報科学)、博士(デザイン学)	星野 准一	
副査	筑波大学 教授	博士(工学)	宇津呂 武仁	
副査	筑波大学 教授	博士(工学)	中内 靖	